

## 市政を問う！

# 一般質問



田中 弘 議員

地域事務所の新編について

## 問

地域分散型のまちづくりを  
目指している伊予市において  
いつごろまで、中山・双海地  
域事務所が存続できるか。

地域事務所が、行財政運営  
の中、スリム化・機構改革が  
なされても、住民サービスの  
ために是非とも地域事務所を  
存続していただきたい。

## 答

中村市長

当面、地域事務所の廃止は  
考えていないが、出帳所は、  
団塊の世代の退職とともに職  
員数が減少する中で、早晚廃

## 問

ふるわじゅんぐらじゅん

止等について検討していく段  
階がきている。具体的には、  
四年目に入る来年度に再度行  
政診断を行い、住民自治組織  
の動向も見極めながら、将来  
に向けた体制をつくり上げた  
い。

なお、中山地域事務所の庁  
舎の問題は、老朽化が進み、  
傷みも激しいようである。今  
後、大規模改修をするのか、  
新築するか、また、他の公共  
施設に転用して利用するかは、  
費用対効果や地域ニーズ、ま  
た財政事情を十分見極め、検  
討したいと考えており、今後  
の検討課題である。



中山地域事務所

## 答

中村市長

伊予市まちづくり計画の地  
域資源を活用した「食のまち  
づくり」企画は、農業・林業・  
水産業を営む者、さらに市民  
には、大変興味がある。  
専門のコンサルに委託を任  
せるだけでなく、地域の意見  
も反映し、次の世代を担う職  
員にも参加をさせていただけ  
たい。

中山地域や双海地域は、地  
域特産物、地域資源を農林水  
産物と位置づけ、「中山栗」、  
「双海じゃこてん」や「ちり  
めん」などを町おこしの目玉  
としてPR、地域活性化に取  
り組んできた。  
また、伊予地区では、農林  
水産物のもとより、水産加工  
業とともに発達してきたと言  
っても過言ではないほどにそ  
の存在は大きなウエートを占  
めている。  
今回の食づくり構想では、  
各地域での歴史を顧みて、改  
めて食に目を向け、食と食文

化をテーマに、新しい地域資  
源の発掘と中山・双海地域に  
おけるグリーンツーリズムや  
ブルーツーリズム構想と連携  
した地域活性化戦略を提案す  
るものである。

日ごろ見慣れた物、食べな  
れた物を違った目、新しい視  
点で地域特産物を再発見し、  
改めて広く世間の注目を得ら  
れる付加価値を見出し、いき  
たいとも考えている。

今回こうした施策を提案す  
ることで、地域も、市民の皆  
さんと一緒になって、地域の  
将来について議論していただ  
きたい。

伊予市の新しいまちづくり  
の手法は、協働と参画であり、  
市民の皆様が施策を公表し、  
協働にも加わっていただいた  
いと考えている。こうした各  
プロジェクト、主要施策の企  
画、立案はすべて職員が情報  
を共有し、多くの職員がかか  
わり、知恵を出し合う形で臨  
みたいと考えている。

また、まちづくりは一過性  
のものであってはならない。  
継続性をもって、長く地域に  
反映していくことが基本であ  
る。

このことは、私も職員も同  
様の思いである。

## 答

行政改革・  
政策推進室長

食をテーマとしたまちづく  
りは、団塊の世代やUターン・  
Uターンに目を向けた体験型  
農業や体験型事業あるいは中  
山門前地区の公社が所有して  
いる遊休地に観光園や市民農  
園の可能性、他方、この地に  
食をテーマとした施設を設  
置し、学校教育と地域が連携し  
た食育への取組の可能性につ  
いても今回グラウンドデザイン  
の中で追求してみたい。

地場産業が活気づき、収益  
が上がれば地域は元気が出る  
し、伊予市も収益が上がって  
くる。

これら地場産業と行政が連  
携、タイアップして、相乗効  
果の新たな戦略も考え、提案  
していきたく考えている。

## その他の質問事項

・通学バスの充実と子供の安  
全について